

各位

2026年3月10日
KNT-CTホールディングス株式会社
総務CSR部：梅津、岩本
TEL：03-5325-8547

旅行取扱状況の概観（令和8年1月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比107.5%、学生団体は同125.4%、団体旅行合計では同120.5%となった。企画旅行については前年比97.9%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比101.4%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比127.5%、学生団体は同151.0%、団体旅行合計では同136.8%となった。企画旅行については前年比116.6%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比118.9%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比66.4%と前年度を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の1月の総取扱額は、前年比103.0%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、スポーツイベント関連や、企業の報奨旅行の取扱いなどが増加し、一般団体は107.5%と前年度を上回った。

学生団体は修学旅行やスキー研修などの取扱いが増加し、学生団体旅行合計で125.4%と前年度を上回った。

国内企画旅行については、前年比97.9%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、一部テーマパーク商品の販売は堅調も、他方面の宿泊旅行が伸び悩み、前年比75.4%となった。クラブツーリズム国内（添乗員付商品）では、雪の影響で東北方面の販売が伸び悩みも、北陸方面、四国方面の販売が好調に推移し、前年比105.4%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比101.4%となった。

2. 海外旅行

海外団体については、職場旅行などの取扱いの増加に加え、総合展示会への大型団体の取扱いや香港映画のオフィシャルツアーの取扱いもあり、前年比127.5%となった。学生団体は修学旅行の取扱いが増加し、前年比151.0%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比136.8%となった。

海外企画旅行については、前年比116.6%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、エジプトやヨーロッパ方面が好調に推移し、前年比119.8%となった。以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比118.9%となった。

3. 訪日旅行

欧米圏からのスポーツ関連団体の取扱いは堅調に推移した。一方、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでは、旧正月（春節）の時期が前年は1月下旬、本年は2月中旬となった影響が一部市場で見られた。これらの結果、訪日旅行全体では前年比66.4%となった。

以上